

沖縄県地域環境センター 活動実績報告

(令和4年7月～9月)



環境啓発体験プログラム／自然観察会

8月13日(土)・20日(土) 海の生き物とマイクロプラスチック連続講座



自然と生き物に関する理解を深め、環境保全に対する意識を高めることを目的に連続講座を開催しました。1日目は屋嘉田潟原で海の生き物の観察を行い、2日目はマイクロプラスチックについて学び、採取した砂からマイクロプラスチックを寄り分け集計作業を行いました。

8月26日(金) 令和4年度 星空観察会



一般県民を対象に星空観察会を行いました。星座盤の使い方を学び、双眼鏡や肉眼で、はくちょう座や土星、天の川などを観察できました。星空観察を通して、環境保全の大切さを学ぶことができました。

環境教育出前講座

7/1(金)	サンゴ守りんちゅ『ホロホローの森と具志頭浜 夜の観察会』	8/19(金)	南城市中央公民館『海のごみ』
7/2(土)	子育て相談保育室バク『身近な自然観察会 ホタル観察会』	8/22(月)	なないろ児童クラブ2『身近な自然観察会 森の指令ゲーム』
7/4(月)	北谷町立北谷第二小学校『めざせ エコ生活! ペーパービーズづくり』	8/22(月)	児童クラブひーむん『沖縄の自然や生き物』
7/5(火)	沖縄市立美里小学校『環境問題って何だろう?』	8/23(火)	北谷町砂辺公民館『めざせ エコ生活! ペーパービーズづくり』
7/6(水)	座間味村立座間味小中学校『My leaf 葉っぱスタンプエコバッグづくり』	8/27(土)	沢岬げんき学童クラブ『身近な自然観察会 森の指令ゲーム』
7/6(水)	沖縄市立美東小学校『ごみの行方・・・』	8/29(月)	エコキッズ『めざせ エコ生活! ペーパービーズ作り』
7/7(木)	名護市立我地ひるぎ学園サイエンスクラブ『めざせエコ生活! ペーパービーズづくり』	9/1(木)	那覇市立開南小学校『環境問題ってなんだろう?』
7/8(金)	恩納村立山田小学校『沖縄の自然や生き物』	9/2(金)	名護市立稲田小学校『水が危ない!』
7/11(月)	竹富町立船浦中学校『プラスチックな毎日 みつろうラップづくり』	9/7(水)	糸満市立米須小学校『災害を知ろう』
7/14(木)	南城市立馬天小学校『地球温暖化について』	9/7(水)	恩納村立仲泊小学校『環境問題ってなんだろう?』
7/15(金)	サニーハート児童クラブ『身近な自然観察会 ホタル観察会』	9/8(木)	那覇市立真嘉比小学校『沖縄の自然や生き物 (3年、環境問題ってなんだろう? (4年、6年))』
7/15(金)	久米島町立久米島小学校『水の惑星』	9/9(金)	うるま市立高江洲中学校『環境問題とSDGs』
7/19(火)	浦添市立沢岬小学校『沖縄の自然や生き物』	9/13(火)	糸満市立潮平小学校『食べもの探偵団 食品ロスを考えよう』
7/25(月)	沖縄県立総合教育センター『プラスチックな毎日 みつろうラップづくり、廃プラスチックでアクセサリー』	9/14(水)	西原町立西原南小学校『沖縄の自然や生き物』
7/27(水)	ホップステップクラブ『プラスチックごみ削減! みつろうラップづくり』	9/14(水)	沖縄県立中部農林高等学校『プラスチックな毎日 マイクロプラスチック調査とみつろうラップづくり』
7/27(水)	那覇市立上山中学校『SDGsと環境問題』	9/16(金)	豊見城市立伊良波小学校『食べもの探偵団 食品ロスを考えよう』
7/28(木)	なないろ児童クラブ『身近な自然観察会 森の指令ゲーム』	9/16(金)	名護市立屋部小学校サイエンスクラブ『めざせエコ生活! ペーパービーズづくり』
8/1(月)	那覇市立松島中学校『身近な自然観察会 学校区内の末吉公園自然観察』	9/21(水)	沖縄県立西崎特別支援学校『めざせエコ生活! ペーパービーズづくり』
8/5(金)	志茂町児童クラブ『身近な自然観察会 森の指令ゲーム』	9/22(木)	沖縄県立沖縄盲学校『カメってどんな生き物?』
8/6(土)	わくわく児童館わくわくクラブ『ネイチャーゲーム 葉っぱスタンプエコバッグづくり』	9/22(木)	南風原町立翔南小学校『水が危ない!』
8/8(月)	美原学童クラブ『めざせ エコ生活! ペーパービーズづくり』	9/26(月)	うるま市立具志川小学校『沖縄の自然や生き物』
8/8(月)	美原第二学童クラブ『めざせ エコ生活! 古Tシャツでコースターづくり』	9/27(火)	糸満市立西崎小学校『沖縄の自然や生き物』
8/9(火)	南原学童クラブ『めざせ エコ生活! ペーパービーズづくり』	9/28(水)	南城市立百名小学校『食べもの探偵団』
8/12(金)	豊見城市生活環境課『地球温暖化について』	9/29(木)	株式会社オカノ『身近な環境問題と保全活動』
8/15(月)	読谷村教育委員会生涯学習課『プラスチックな毎日 みつろうラップづくり』	9/30(金)	北谷町桑江公民館『めざせ エコ生活! 布ぞうりづくり』
8/17(水)	北谷町桃源公民館『めざせ エコ生活! ペーパービーズづくり』		

沖縄県地域環境センター情報誌

島エコだより

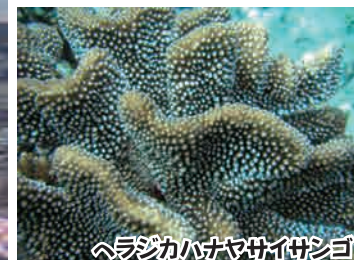
No.07
2022年 NOVEMBER



サンゴ礁 (恩納村前兼久)
By 沖縄県環境部自然保護課
オキナワイキモノラボ



ウスエダモドリイシ



ヘビシカハナヤサイイサシゴ



チヂミカスゴモシサンゴ

サンゴ礁の宝庫・沖縄

サンゴ礁は、動物であるサンゴの骨格が少しずつ積み重なり、長い年月をかけてつくられる地形のことです。枝状やかたまり状、テーブル状など多種多様な形のサンゴに魚や貝などの生き物が棲み、それらをエサにする生き物も集まってくることで豊かな生態系を作りだしており、「海の熱帯林」「海のオアシス」と呼ばれています。

また、サンゴ礁は私たち人間にとっても豊かな漁場であり、沖縄の経済を支える観光資源であり、台風の際の津波や高潮等の被害を軽減する天然の防波堤の役目も担うなど、無くてはならないかけがえのないものです。

サンゴの海が SOS !?

地球温暖化とは、人間活動に伴って発生する二酸化炭素などの温室効果ガスが、大気中の温室効果ガスの濃度を増加させることにより、地球全体の温度が上昇することです。

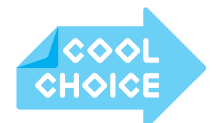
サンゴは、水温 18℃から 30℃の暖かい海に棲む生きものであり、水温が高くなりすぎると、サンゴに共生して栄養を作り出している褐虫藻が逃げ出し、栄養がとれなくなることで弱っていきます。この時、骨格が白く透けて見えることを「白化現象」といい、この状態が続くとサンゴは死んでしまいます。

今年の夏、石垣島や宮古島周辺では、海水温上昇などの影響により、例年以上の規模で白化現象が確認されています。



サンゴの白化現象
サンゴ礁保全の取り組み / 環境省
<https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html>

地球温暖化対策のための国民運動



賢い選択

CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中であらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

サンゴ礁を守るために今こそ!



「COOL CHOICE」(=賢い選択)

環境省 / 「COOL CHOICE」地球温暖化対策、省エネ、エコで「賢い選択」



環境学習なら沖縄県地域環境センターへ

沖縄こどもの国チルドレンズセンター 1階にある沖縄県地域環境センターでは、環境図書の閲覧ができるほか、環境教材の貸し出しや環境学習相談、地域や学校等での出前講座・自然観察会・リサイクル工作・啓発イベント等を実施しています。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://kankyo-center.okinawa>



令和4年11月 (No.7)

発行者 沖縄県環境部環境再生課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2064 FAX.098-866-2497

編集・お問い合わせ先 公益財団法人 沖縄こどもの国 (沖縄県地域環境センター)

〒904-0021 沖縄市胡屋5-7-1 TEL.098-933-4190 FAX.098-932-1634
<https://kankyo-center.okinawa> Mail: kankyo-center@okzm.jp



特集

できることから始めてみませんか？ 暮らしを脱炭素化するアクション！

日本を含め世界中で、気温や海水温の上昇、干ばつや集中豪雨などの気候変動が起きており、自然環境や私たちの暮らしにも様々な影響が現れ始めています。

このため、気候変動という地球規模の問題の解決に向けて、温室効果ガスを出さない、「脱炭素社会」を目指した取組が求められています。

沖縄県では、2021年に気候変動問題に対して、行政、事業者、県民が一丸となって取り組んでいくため、気候非常事態宣言を行うとともに、併せて、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

脱炭素社会の実現には、行政だけでなく社会全体で取り組む必要があり、私たち一人一人のライフスタイルの転換が重要となります。みんなで力を合わせて、できることから取り組んでいきましょう！



30項目の一部を抜粋してあります。
取り組んでいることにチェックを入れてみよう！いくつできているかな？

これから取り組んでいきたい項目にもチェックを入れてみよう！

できています		これからやりたい	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

食品・食材の無駄をなくそう！

ACTION

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト

衣類・ファッションでもサステナブルを！

ACTION

- 21 今持っている服を長く大切に着る
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ

できています		これからやりたい	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

できています		これからやりたい	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

家庭ゴミを減らす工夫をしよう！

ACTION

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う
- 25 修理や補修をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 ごみの分別処理

環境活動に積極的に参加しよう！

ACTION

- 30 植林やごみ拾い等の活動

参考資料・画像 環境省 / ゼロカーボンアクション30

貸出物のご案内

沖縄県地域環境センターでは、環境に関する図書・DVD・パネル等の教材を収集し、無料で貸し出しを行っています。イベントや学習会などにどうぞご利用ください。

☆ オススメ書籍



気候変動
— 開発教育アクティビティ集3

著者：岩岡由季子・八木亜希子（開発教育協会）
発行所：特定非営利活動法人 開発教育協会

気候変動という地球規模の課題について知り、アクションを起こすきっかけにもらえるように、初めてでも取り組みやすいアクティビティを紹介しています。



暮らしのなかのSDGs
— 今と未来をつなげるものさし

編集：アノニマ・スタジオ
発行所：アノニマ・スタジオ

持続可能な社会をつくるために、暮らしの中でSDGsを実践するさまざまな人たちの考えやアイデアを紹介。専門家や企業、団体の取組も掲載しています。SDGsの入門書としてもオススメです。

こどもエコクラブ情報コーナー

活動レポート～みんなのエコロジカルアクション～
今回は、南城市で活動している『エコホヌ』の皆さんから届いた活動レポートを紹介します。

クラブ名 エコホヌ（南城市）

活動テーマ 「台風前に海のごみをみんなで拾いました！」

活動日 2022年8月29日 **実施場所** 南城市知念・海岸

参加メンバー&サポーター数 15人 **活動の分野** ごみ・リサイクル

活動内容 毎週月曜日の海のごみ拾い。7月末の台風6号の後、ごみ拾いができていなかった海岸のごみを台風11号が近づく前に片付けることができました。この日はたくさんの応援が来てくださり、短い時間であったという間に海ごみを拾うことができました。

参加者のようす いつもは子ども達5人でごみ拾いを行っているのですが、この日は助っ人が11人も集まり大勢で活動することができました。応援に来てくださった方々も「夕方でも暑いね」「海の水が温泉みたいに熱い！」「亀の甲羅が！」などとても楽しんでいました。

感想 / 気づいたこと / 考えたこと この日気が付いたのは、1人増えると手も目も足も1組ずつ増える。そうすると拾う事の出来るごみも倍に増える！ということ。海に来た人ひとりひとりが海のごみを拾ったら海はいつも綺麗で、海に流れ出るごみも少なくなるのになあ、とメンバーが実感した日になりました。

◇地域環境センターから一言◇

少ない人数でもごみを拾う活動を継続して続けることでごみは確実に減りますし、皆さんの活動が周りの人たちを巻き込んだ結果、ごみのない美ら海とすることができます。「継続は力なり」。エコホヌの皆さんの活動をこれからも応援しています！

☆こどもエコクラブメンバー募集中☆

こどもエコクラブとは、幼児（3歳）から高校生まで、誰でも参加できる環境活動のクラブです。地域環境センターでは、エコクラブ事務局としてクラブ活動を支援・応援していきますので、興味のある方は、ぜひ、沖縄県地域環境センターまでお問い合わせ下さい。

☆登録料・年会費：無料 ☆詳しくは「こどもエコクラブ」HPへ！



沖縄県からの情報

「エコライフ & ネイチャーフェア 2022

～未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館～」を開催します！

沖縄県では毎年、県民一人ひとりが環境問題について理解を深め、自らのライフスタイルを見直し、主体的に環境保全に取り組む契機とするため、楽しみながら参加・体験できる環境イベント「県民環境フェア」を開催しています。

今年度は、沖縄県復帰50周年記念事業として例年より規模を拡充し、世界自然遺産に登録された沖縄の自然や気候変動問題をテーマにした参加体験型イベント「エコライフ & ネイチャーフェア 2022」として、**沖縄こどもの国を無料開放**して開催します！

団体や企業によるブース出展、ワークショップ、世界自然遺産大使（HY、知花くららさん）のトークセッション・ライブなど、子どもから大人まで楽しみながら環境について学べるイベントとなっていますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご来場下さい！

エコライフ & ネイチャーフェア 2022

～未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館～

☆開催日時☆ 令和4年11月12日（土） 10:00～17:00

☆場所☆ 沖縄こどもの国（入場無料）

☆アクセス☆ 【車】 沖縄南ICから約10分 【P】 約650台
【シャトルバス】 近隣職業施設等からシャトルバス運行

☆お問い合わせ☆ エコライフ & ネイチャーフェア 2022 事務局（（株）丸正印刷内）
TEL：098-835-8181

☆特設サイト☆ <https://ecolife-and-nature.info>



令和元年度環境フェアの様子



平成29年度環境フェアの様子

☆今後の予定 体験プログラム・イベント☆

『エコライフ & ネイチャーフェア 2022』に出展します！！

開催日：11月12日（土）10:00～17:00

場所：沖縄こどもの国（水とみどりの広場）

内容：工作 / パタパタどり

パタパタとつばさの動く鳥の工作物を作ります。

参加費：無料



最新講座情報
参加申し込み
ホームページを
チェック！

